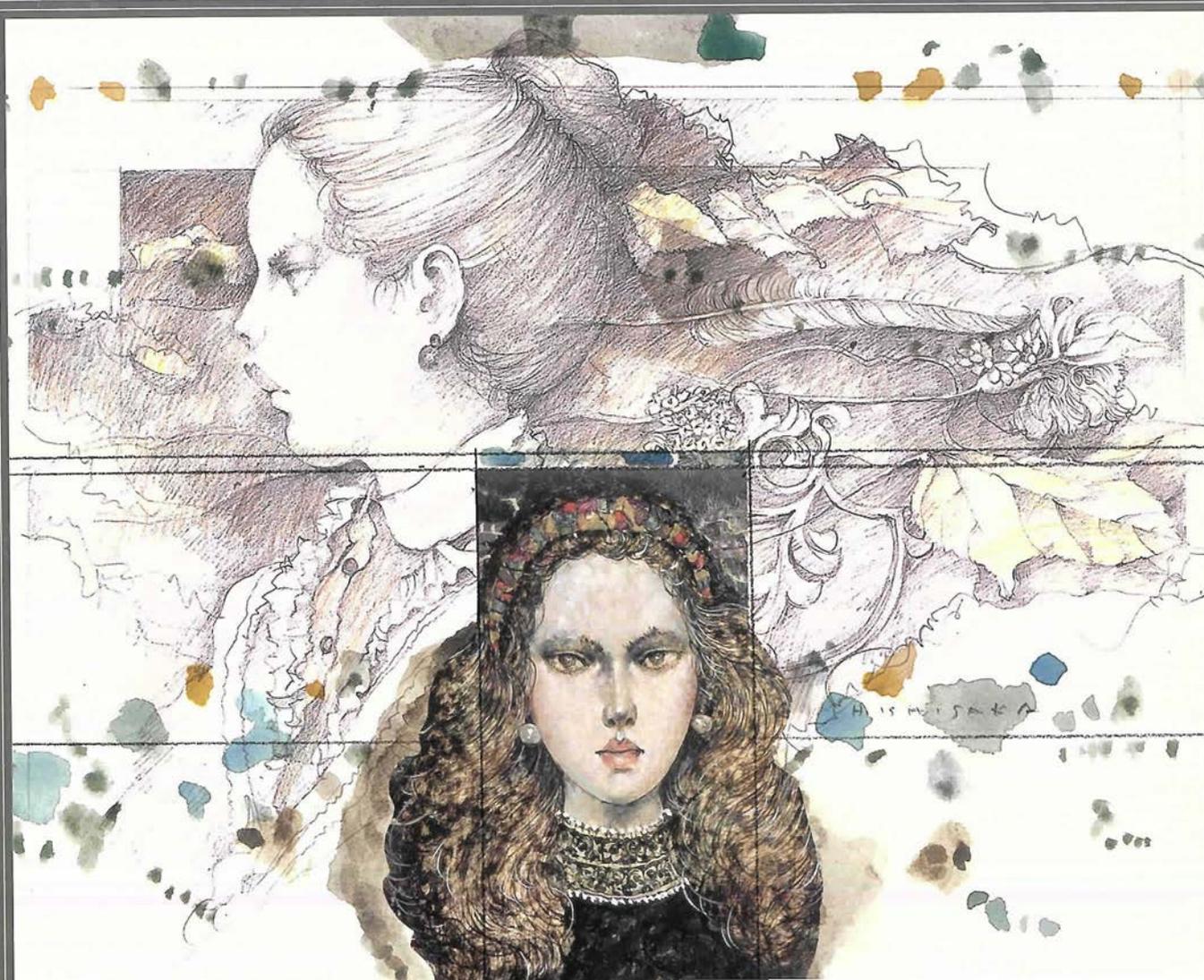


神戸っ子
2005

n' KOBECCO

kobecco.co.jp



40th
ANNIVERSARY

さんちか40周年アニバーサリーフェア

Santica Anniversary Fair

10.1[土]—10.10[月・祝]



神戸ポートピアホテル
ホテルオークラ神戸
神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ
新神戸オリエンタルホテル
神戸メリケンパークオリエンタルホテル

SANTICA
40th ANNIVERSARY

神戸のホテルで楽しむ、クリスマスディナーショープレゼント!

期間中さんちかでお買い物、ご飲食毎に応募券を進呈。抽選で神戸の5つのホテルから選べるクリスマスディナーショーにペアでご招待。

- | | | | |
|----|--------------------|------------|------------------|
| A賞 | 神戸ポートピアホテル | 出演者: 美川憲一 | 12/15(金) 午後6:30~ |
| B賞 | ホテルオークラ神戸 | 出演者: 小柳ゆき | 12/17(土) 午後7:00~ |
| C賞 | 神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ | 出演者: グッチ裕三 | 12/21(金) 午後8:00~ |
| D賞 | 新神戸オリエンタルホテル | 出演者: コロケ | 12/21(金) 午後8:20~ |
| E賞 | 神戸メリケンパークオリエンタルホテル | 出演者: ピーター | 12/22(土) 午後8:00~ |

総数25組150名様(各賞5組10名様)

santica
The New Heart of Kobe 神戸三宮さんちか
<http://www.santica.com>

The New Heart of
KOBEハーバーランド



山の手、浜の手、2つのショッピングモール

DU KOBE
 デュオこうべ

ハーバーランド/JR神戸駅前地下街
 営業時間/午前10時~午後8時・飲食店は午後9時まで
<http://www.duokobe.com>

星野みゆきプロデュースシリーズVol.2

Miyuki Hoshino and Gyula Nyári Dinner Concert

Saturday, October 29, 2005
 at KITANO CLUB sola

今年は
 アジアンリゾートさながらの
 癒し空間で
 sola自慢の
 フレンチディナーとドリンク
 そして
 私達の奏でる
 音楽をお楽しみください



曲目(予定)
 ミュージカル
 『オペラ座の怪人』より
 スペシャルメドレー
 リスト
 “夢にきませ”
 ドビュッシー
 “月の光”
 その他

星野みゆき(ソプラノ)
 and
 ニヤリ ギュラ(ハンガリー人ピアニスト)
 デイナーコンサート

2005年10月29日(土)

開場 **18:00** 第1部18:30~18:45 デイナー18:45~20:00
 (2階ラウンジ) 第2部20:00~21:00 22:00までカクテルタイムをお楽しみいただけます

会場:北野クラブ ソラ モンスーンヴィラ



入場料: **20,000円** 30名様限定
 神戸市中央区北野町1-5-4
 TEL:078-222-5515
<http://www.sola-resort.com/>

ご予約・お問い合わせは
 星野(TEL:090-8386-0718)まで
<http://www.gm-artgrace.com/>

Art View

— VOI.5



夕力(2002)

前田陽治

作家プロフィール



前田陽治(まえだ ようじ)

奈良生まれ。少年時代は工作やプラモデル、学生時代は山登りに興じる。24歳の時カービングに出会い、その後自らの眼で鳥を眺めようとバードウォッチングを開始。10年前に流木を材料に使いはじめ、7年前より本格的に流木カービングを開始。以降、ハンズ大賞に2度入選、JAPAN DIYショー大阪佳作入選など流木カービングの第一人者として活躍。神戸市在住。

撮影協力:流木工房
神戸市中央区多間通4-1-1 歩8番館2F
TEL/078-361-5510
<http://www.ryuboku.jp/>
(前田さんの作品も販売しています)

羽ばたく自然の造形



一見すれば、当たり前前にタカの木彫である。しかし、その材料は流木。フォルム、そして羽の感じは、全く手を加えていない「天然」の彫刻だ。

「私の作品はひらめき90%、加工10%

ですから」と謙遜する前田さん。しかし、ひらめきに至るまでの途は遠い。天性の観察力。豊かな想像力。そしてバードウォッチングを重ね、さまざまな野鳥を目に焼き付けた記憶。これらがびたりと重なり合った一瞬の光明が、創造のインスピレーションに昇華していく。

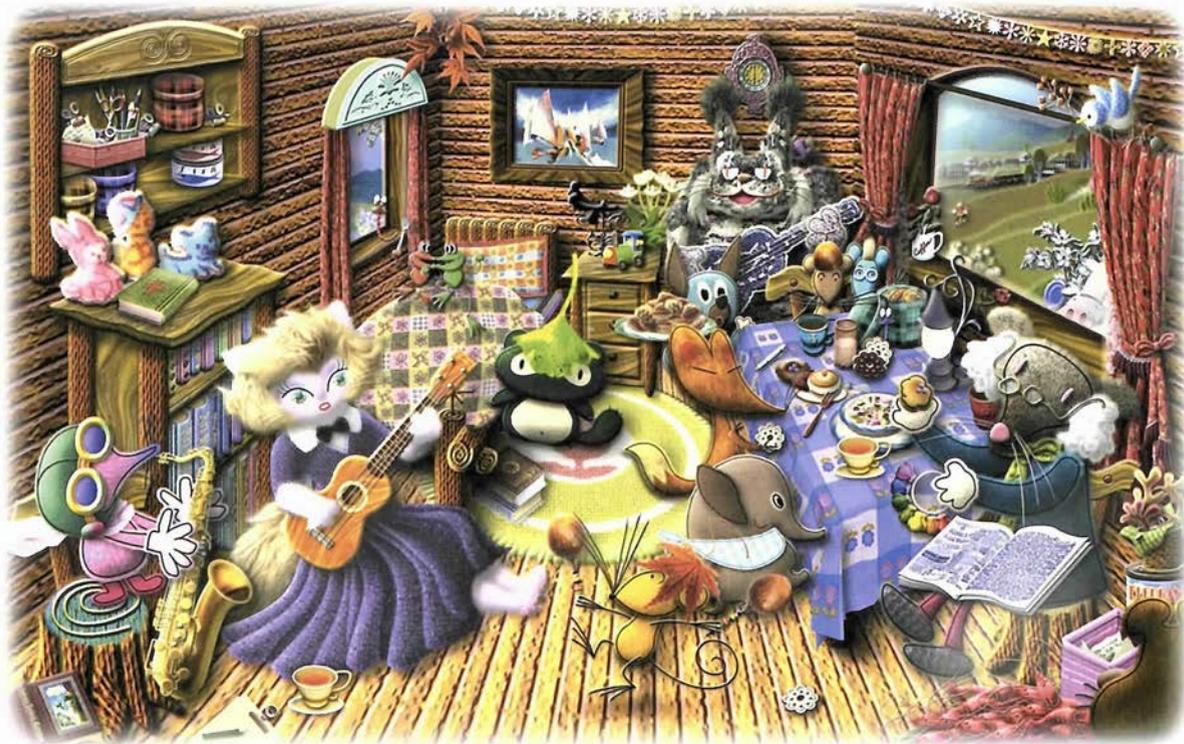
加工は首から上の部分だけ。しかも彩色はしていない。流木の表面を削ると、味わい豊かな木本来の色が出てくるといふ。前田さんが愛してやまない自然への畏敬の念からか、流木と対峙して浮かび上がったイメージは、自然が創り出した素材の風合いを最大限に活用し、最小限の加工を施すだけで形作られる。

手にした流木が「この角度から見るとほしい」と訴える、自然の黙示録を読み解く。そして荒れ果てた木の屍のような流木に、新たな生命の光を見出す。その眼光は、タカのように鋭い。

— SECOND COVER —

これは神戸を愛する人々の手帖です。あなたのくらしに楽しい夢をおくる、

神戸を訪れる人に楽しい道しるべ、これは神戸っ子の心の手帖です。



CONTENTS

6 特集I Living in KOBE

- 7 建築家・瀬戸本淳氏と神戸の住まいを訪ねる
- 14 次世代の住まい考
- 18 神戸住まいコレクション
- 24 対談:人生を楽しむ「終の棲家」を
伊東眞理子(同朋大学社会福祉学部 助教授) VS
松並俊彦(株式会社チャージング・コミュニティ 代表取締役)



30 特集II 有馬の秋 湯に 街に遊ぶ

- 31 有馬歳時記
- 36 上田千華 presents ちかナビ ONE DAY TRIP⑤
- 40 泊まっていたい有馬の宿



- 2 ART VIEW⑤/タカ:前田陽治
- 46 兵庫県立芸術文化センターオープン
- 48 <連載>田中まこの神戸が撮っても好き⑦
神戸で撮影の連続ドラマ

表紙/石阪春生

- 52 神戸コレクション プリウス 2005 Autumn/Winter
- 54 神戸のお嬢さん/古川紗綾佳さん 中後舞衣子さん
- 56 <連載>木村多恵子の暮らしのエスプリ<10>
- 58 KOBECO2005/佐伯紀久子 西田真人
- 60 ある集い/一宮櫻花合唱団・はばタンレディ
- 62 和の道を求めて⑤ 伝統芸能の伝承者たち
花柳芳一さんとお弟子さんたち
- 64 男役も女形もひばりさんも 風さやかな七変化
- 67 私の意見 井上数利
- 68 <連載>トウィンクル&ビッグ④ 藤原健二
- 70 <連載>神戸ゆかりの源平浮世絵
「平家追討の魁・源頼政の奇っ怪な化け物・鶴退治の話」 中右瑛
- 72 <連載>海船港
「水郷&近江商人発祥の地 近江八幡を訪ねて」 上川庄二郎
- 74 でん太の教えてドクター
- 76 びっといん「Bar SLOW」
- 77 <連載>六甲味散歩④ 「バンモッチャ」 鈴木正幸
- 78 秋のイベント情報
- 84 イベントスケジュール
- 86 ポケットジャーナル
- 88 <連載>プロフェッサーPの研究室 岡田淳
- 90 <連載>震災エッセイ⑦ 文・大谷成章 剪画・とみさわかよの
- 92 <連載>五線紙の街⑩ 文・宮田達夫 絵・中西省伍
- 94 <連載>コーヒーカップの耳③ 文・出石アカル 絵・菅原洗人 題字・六車明峰
- 96 <連載>鏡の中のサムライ⑧ 文・中野順哉 絵・平田郁
- 102 コウベスナップ
- 104 Kitano Hot News 「神戸観光ウィーク」
- 106 法人ニュース
- 112 神戸うまいもん&ドリンクINGNEWS 「SONE」
- 113 神戸百店会だより 「菊水總本店」
- 124 表紙の言葉
- 125 Present
- 126 編集後記
- 127 定期購読のご案内
- 128 Last Photograph⑦/中山岩太

写真/フォトスタジオPROX(久保実 久保佳正 来間孝司)

Living in KOBE

海が近い、良好な環境。
都市の賑わいと利便性。
お洒落で洗練されたイメージ。
「住んでみたい街」の
上位にランクインされる
憧れの神戸の住まい。
神戸らしい「住」の魅力や
住まい方のスタイルを
ご紹介します。

建築家・瀬戸本淳氏と
神戸の住まいを訪ねる

- 石阪春生邸
- 北野恵子邸
- 若柳吉金吾邸

次世代の住まい考

- 住宅リノベーションで
新しい住文化を
- 外断熱マンションは
これからのスタンダードに

神戸住まいコレクション

- 野村不動産・三井不動産
- 信和住宅販売
- アイランドデザイン

対談／人生を楽しむ「終の棲家」を
伊藤真理子 vs 松並俊彦



建築家・瀬戸本淳氏と 神戸の住まいを訪ねる

住まいとは、人が住んでいる空間。

人がいないと住まいではなくなる。

そして、建物と住む人の個性が融和して

時とともに豊かな空間は醸成される。

神戸の文化を育んできた方々の住まいを

建築家・瀬戸本淳氏とともに訪ねて、見て、感じることで、

神戸らしい住まいとは何かという命題にアプローチしてみた。

瀬戸本淳 プロフィール

建築家。一級建築士。株式会社瀬戸本淳建築研究室代表取締役。

1947年神戸市生まれ。神戸大学卒。鹿島建設、安井建築設計事務所を経て、1977年瀬戸本淳建築研究室設立。世良美術館、月光園鴻臚館、兵庫県司法書士会館などを手がける。神戸市建築文化賞、兵庫県さわやか街づくり賞、神戸市景観ポイント賞など、受賞歴多数。神戸を代表する建築家として活躍するかたわら、若い芸術家の支援など文化活動にも積極的に携わっている。



建築家・瀬戸本淳氏と神戸の住まいを訪ねる

石阪春生邸



新開地の雑踏から少し離れた、静かな兵庫の下町の一角に、画家、石阪春生氏の邸は佇む。落ち着いた渋いマルーンのタイルがシックで洒脱だ。玄関を入ると、広いリビング。天井の梁は、棟の木が真っ直ぐストライプを描く。棟の木は壁を突き抜けて、エントランス、そして玄関先まで伸びる。壁に接して、30年愛用しているイタリア製ソファが置かれている。

瀬戸本「ソファを部屋の端に置くと落ち着くのです。部屋が広く感じられるし、部屋の中央に空間が生まれる。日本人、そして遊牧民族などでもそうですが、部屋の中央の空間は、神の宿る空間として大切にされています。ある意味日本伝統の住まい方の延長上にありますね。」

2階のアトリエは天井が高く、天窓からやさしく光が注ぐ。使いかけのパレット。描きかけのデッサン。絵の具で汚れた床。雑然としているが、そこに動きがある。特注の細かい筆で繊細に描かれる絵画が、この空間で魂を得る。



使いかけのパレット。描きかけのデッサン。絵の具で汚れた床。

雑然としているが、そこに動きがある。

瀬戸本「絵の具の匂い。この雰囲気。実にいい感じですよ。はっとする、そして嬉しくなる空間です。」

なるほど、作品の印象が美術館で観るのと全く違うのは、この匂いにも大きな理由があるのかもしれない。

リビングもアトリエも、実にさまざまな小物が置かれている。石阪作品でお馴染みの人形はもちろん、古ぼけた時計、ドライフラワーや、菓子の木型、陶製の湯たんぽ、石炭入れまで石阪氏自身がいろいろと集めたようだ。

瀬戸本「心から好きな物を置く。どうかな、と思った物は置かない。そこに、自分が出るか出ないかの差がある。小物は石阪先生が絵を描くときの道具にもなるのですが、インスピレーションやエネルギーの素にもなっているでしょう。」

石阪氏の心を動かした物たち。それらが画家の家らしく色のトーンが絶妙で、心落ち着く空間を創造していた。

建築家・瀬戸本淳氏と神戸の住まいを訪ねる

北野恵子邸



「楽しいキッチンのあるお宅があるのですよ。是非訪ねましょう」と、瀬戸本氏からリクエストがあった北野邸。これまでも建築雑誌などでたびたび紹介されているという。なるほど、こんなキッチン見たことない！北野恵子さんはこのキッチンで「cooking keiko」を主宰しお料理を教えているそうだが、きっと楽しい料理教室だろう。コーナーの照明も、窓から差し込む自然光も気持ち良い。

瀬戸本「収納をしないスタイルのオープンキッチンは、いかに使い勝手が良いかが大切。ひとつずつに細かい工夫が見られます。そしてここまで見せているキッチンはそうないでしょう。小物なども置きすぎると普通はいやらしくなる。ところが、統一性があるから気持ちよい。暖かい人柄が表れているキッチンですね。」

お料理を愉しむダイニングも洒落ている。そして、特注のステンドグラスからやわらかく陽光が差し込むテーブル奥のコーナーがとても楽しいスペースで、瀬戸本氏もお気



自分の好きなものだけを集めて、こんなに洒落た部屋になる。

こういうスタイルが、真に神戸らしい。

に入りの様子だ。

瀬戸本「このスペースは図面で見るとかなり狭いスペースのはずなのに、物を置くことで広いスペースに見える。紅茶のセットもコーナーを上手に利用していて、小さい空間を膨らませている。家具も素敵なものだし、小物もとても上手に使われていますね。」

ここは六甲の麓。神戸大学のキャンパスと神戸のまちを一望できるバルコニーは、心を解放するすがすがしさがあ。パーティは楽しいに違いない。訪れた人が帰りたくなる気持ちはよくわかる…。料理を美味しく見せるプロだから、インテリアの色合いもとてもセンスが良い。

瀬戸本「自分の好きなものだけを集めて、こんなに洒落た部屋になる。こういうスタイルが、真に神戸らしいライフスタイル、そして神戸の文化なのだと思います。」

そして最後に瀬戸本氏は一言。「自宅にこんなキッチンがあればいいなあ…。」

建築家・瀬戸本淳氏と神戸の住まいを訪ねる

若柳吉金吾邸



邦舞家の

若柳吉金吾

氏の住まいは、

一見してそ

れと分かった。

瓦塀に竹の

駒寄、格子

戸の玄関の前には「若柳」に

ちなんだ柳の木がそよそよと

風に揺れている。

瀬戸本「雰囲気がありますね。

和風の家でも、最近柳を植

える家が少ない。いいもので

すね。」

稽古舞台は年季が入って

て素晴らしい。桐の床板の木

目にも味がある。ここで幾度

も重ねられた稽古から、美し

い舞が生まれる。空間が舞を

育て、舞も空間を育てるのだ。

扇子に利用する煤竹と、東

急ハンズで買ってきた板を使

って作った床の間は素晴らし

い。

瀬戸本「床の間は心落ち着く

空間を演出します。床の間の

ない家でもこれならできそう。

一般の人にも教えてあげたい

アイデアです。」

このように、自ら材料を購

入ってきて活かしているアイ





食べ物、素材、スタイルにこだわってこそ、一流の表現ができる。

それが、家の隅々にも現れている。

デアは、ほかにも伺える。下駄箱の上に畳、トイレの開閉をスムーズにするためのすのこ、押しピンを刺さずにすむよう壁の中に鉄板を埋め込むなど、驚かされるアイデアばかりで、とても勉強になる。

随所に生けられた花。風情ある素材を活かした飾り。そして豊かなアイデア。若柳氏の踊りと同じように、細やかで風雅な住まいだ。

瀬戸本「神戸で伝統文化をされている若柳先生が、京都や大阪のいい文化を吸収しつづけているということが素晴らしい。日本の良さを伝えていくという仕事は、僕らの仕事でもある。日本の良さを知ってもらう機会をもっと作っていかなければ。」

この家は決して華美ではない。しかし、シンプルで粋。表現するためには文化を体の中に入れていかなければならない。食べ物、素材、スタイルにこだわってこそ、一流の表現ができる。それが、家の隅々にも現れていた。

次世代の住まい考①

住宅リノベーションで 新しい住文化を

株式会社村上工務店

リノベーションで

新しいメリットを付与

既存物件の活用は、今日の住宅事情が抱える課題のひとつ。村上工務店はその課題に対し、新しい試みで取り組んでいる。

その大きな軸となるのが、リノベーションだ。リノベーションとは老朽化、あるいはライフスタイルの変化などで不便になったものや利用度の低いものに新たなメリットを付与し、これまでとは違った空間へと生まれ変わらせるもの。利用価値が低くなった空間も、使いにくかったスペースも、リノベーションにより有効に活用できるようになる。

もちろん、広さや設備の問題など中古物件には制約は大きい。しかし制約があるから



リノベーションを手がけた白井さん、石岡さん、村上さん（左より）

こそアイデアが生きてくる。たとえば築30年近い中古マンション。浴槽が畳半畳分もない小さな浴室は、浴槽と洗い場の位置を入れ替え、間仕切りをガラスにして広く見せ

て快適に利用できるように手を加えた。リノベーションの本質は制約をメリットに変える発想の転換、そして新しい価値を創造することにある。

DIYの楽しみと

可能性が広がる「Roomkit」

住宅ストックの活用という意味でも、自らの手で自宅をリノベーションするDIYは可能性を秘めている。欧米では中古住宅に住みながら住宅を改良、再販時に価値を高めることが一般的。低コストで住宅の価値を高めることが、趣味と実益を兼ね備えたレジャーになっている。

しかし、いざやってみようと思ってもホームセンターに行っても、何を選んで良いのかわからない、洒落たデザインがない、そして何よりもノウハウがわからないというのが実情。

そこで、ウェブサイト「Roomkit」を立ち上げる計画が進行中だ。「Roomkit」はこれまでホームセンターでは売っていなかったデザイン性の高いフローリ

ングや壁紙などの素材を、使
いやすいようにキット形式で
販売するセレクトショップ。
もちろんノウハウもわかりや
すく伝授。こだわりの部屋を
自らクリエイティブに創りあ
げていく楽しさ。しかもコス
トは割安。

「Roomkit」は気軽にDIY
を楽しむためのゲートウェイ
になるだろう。

DIYでここまでできる！ 若者たちの実験的試み

それでは現実には、DIYで
どこまでできるのだろうか？そ
の命題に対し、賃貸マンショ
ンの一室を「スタジオ」と名
付け、三人の若者がリノベー
ションをおこなった。

角材を積んだ間仕切り壁、
壁や建具に貼られた和紙など
は、センスとアイデアがあふ
れている。キッチンも人工大
理石のトップに。壁には珪藻
土を。和室をフローリングに。
時間はかかったものの、壁も、
床も、タイル張りも、仕上が
りは実にていねいで、すべて
素人が施工したとは思えない。



施工中の様子。一つひとつの作業をていねいに



完成した室内。洒落た空間は、プロからの評価も高い

完成した部屋は、賃貸物件
として活用される。部屋を見
た不動産業者は「強気の家賃
設定ができる」と太鼓判を押
す。DIYで物件の価値を上
げることが、決して不可能で
はないと証明された。

施工を担当した設計事務所
勤務の白井さんは「普段は図
面を引く身ですが、実際施工
してみても大変さがわかりまし
た」と、とても勉強になった
という。自ら施工を手がける
ことで、プロの技術のすごさ
も感じたそうだ。

「既存の空間をデザインし
直して、新しい形で活用する。
そんな住文化が神戸から発信
できればいいですね。実験的
で変わった空間もできるかも
しれないけれど、神戸はそれ
を受け入れる土壌があるので
す」と、村上工務店の村上豪
英さん。多くの人のアイデア
で建物ストックが生まれ変わ
ることができたなら、街にも
活気が生まれるだろう。

●株式会社村上工務店
☎078-577-2031
<http://www.murakami-gc.co.jp/>

次世代の住まい考②

外断熱マンションは これからのスタンダードに

信和住宅販売株式会社

住環境が得られるのだ。
また、躯体コンクリートは断熱材に覆われているため、熱による収縮膨張の変化が起きにくいので経年劣化のスピードが遅い。つまり、躯体が長持ちするので、建物の資産価値が下がりにくいというメリットもある。

健康と環境を

考えたマンション

冬、暖かい室内の空気が、冷たい壁や窓に冷やされて発生する結露は、カビやダニの発生源となり、アトピーやアレルギーの原因のひとつとされている。これまでのマンションでもさまざまな対策が講じられているものの、決定的な方策はなく、コンクリートから出る湿気による「仕方のない」問題とされて半ば放置されてきた。ところが外断熱マンションは壁が外気の影響を受けにくく、その表面の温度は室内と大きな温度差がないので結露はおきない。窓も樹脂サッシや特殊な複層ガラスによる断熱効果で、結露の

新時代のマンションが この春完成

今年の早春、東灘にとあるマンションが完成した。見た目はベージュのタイルが明るい雰囲気醸し出すシックな感じだが、実は次世代の扉を開く「魁」なのである。

『ファスタージウ西岡本サームス』というこのマンション

は関西で初めての「外断熱マンション」だ。壁面や屋根面など構造体の外側を断熱材で覆い、外気の温度変化の影響を受けにくくする外断熱工法により建てられている。



関西初の外断熱マンション「ファスタージウ西岡本サームス」

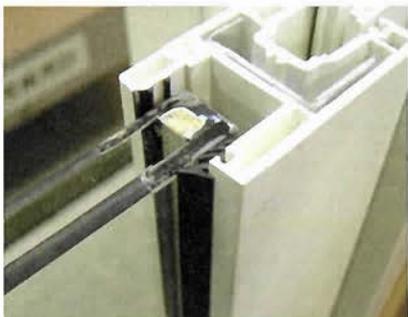
外断熱工法

発生を抑制。もちろんコンクリート中から水分は放出されるが、水蒸気を透過する断熱材の使用でこの点をクリア。対処療法ではなく構造レベルで、結露の問題を根本から解決した。

外断熱マンションは環境にもやさしい。都心が郊外に比べて気温が高くなるヒートアイランド現象。その大きな原因には蓄熱したコンクリートからの放熱と、エアコンの排熱が挙げられる。外断熱ならコンクリートからの放熱を抑え、室温が安定しているためエアコンの使用が少なくて済む。冷暖房でのエネルギー使用によるCO₂など温室効果ガス排出も抑制されるため、温暖化防止にも貢献する。また、建物の構造が長持ちするため、建て替えによる産廃の減少にも寄与する。

この快適さが
これからの主流に

快適で環境にも優しい外断熱マンション。欧米、特に北欧やドイツでは、集合住宅は



樹脂サッシの構造模型。空間が設けられ断熱性が高い



外断熱工法の構造模型の一例。コンクリートが断熱材に包まれている

外断熱というのがもはや常識だ。近年ではアジア諸国での施工例も増えている。しかし、日本では、外断熱工法は現状で1〜2割コスト高になり、大手デベロッパーが二の足を踏んでいるのが実情だ。

マンションはもはや成熟の域に達している感があるが、立地や価格、間取りや設備仕様のこだわり比べて、構造という部分を選択の際に看過されているくらいがあるのではないだろうか。しかし、時代とともに消費者は成熟し、やがてその本質を見抜くだろう。その時、外断熱という選択が本流となる可能性は高い。

信和住宅販売は、真に快適な住まいを求めて建築の原点、構造にたどり着き、そこから未来を見つめている。コンクリート建築の先輩である欧米で外断熱工法が主流であるという事実が、その進むべき道に明るい光を照らしている。

●信和住宅販売株式会社

078-32117885

<http://www.mansionclub.co.jp>

<http://www.shinwa-thermos.com>

野村不動産株式会社 三井不動産株式会社

住吉本町プロジェクト

阪神間モダニズム発祥の地に相応しい淑邸

仰ぎ見る六甲の稜線。涼やかな住吉川のせせらぎ。住吉は、関西における近代郊外住宅の原点となった地だ。

歴史をひもとけば1900年に、当時の朝日新聞社主にして茶人としても名高い村山龍平（香雪）が居を構えたことに端を発し、ちょうど今から百年前の1905年頃より住宅地として注目を浴びはじめ

めた。以降、財力を蓄えていた大阪商人の富豪たちや大会社の社長・重役クラスの財界人たちの邸宅が多くこの地に構えられた。野村財閥当主・野村徳七郎など広壮なお屋敷が立ち並ぶ住吉村は、全国一の「長者村」とよばれていた。

当時の富裕層の心を捉えたのは、住吉の持つ住宅地としての高い資質だ。良質な六甲の湧き水、穏やかな斜面と高燥な土地、温暖な気候、眺望の良さ、交通の至便さ（住吉駅は1874年開業）、充実した教育機関、そして六甲の緑が近い豊かな自然。条件は申し分ない。

それらの良好な条件は、時を越え現在もほとんど変わっていない。むしろ、住宅地として積み重ねられてきた歴史と育まれてきた文化に、一層

の風趣を増している。

屋敷林として守られてきたクスノキ、エノキ、アカマツなど豊かな緑の原木は、自然の財産となっている。御影石の石塀は、美しい街の景観を演出している。

また、空間構成のみならず、より良い生活環境を目指して医療、教育、コミュニティの礎を築いた。それが現在も甲南学園、甲南病院として受け継がれている。

歴史、文化、環境と三拍子揃った住吉の地は、今も昔も、全国的レベルで見てもトップ



和の意匠を取り入れた回廊は、間の奥行きを感じる



大門をモチーフにしたゲート、御影石敷きの車寄せと、風格のあるエントランス

JR神戸線快速停車「住吉」駅徒歩3分、
邸宅の歴史を有する2,400坪超の地を舞台に。



東側道路から本物件を見たイメージイラスト

西暦2005年、秋。阪神間モダンイズム発祥の地から

神戸東灘「住吉」。かつて日本の経済を牽引した財界人・文化人がこよなく愛し、居を構えた地。その趣は、この地を愛してこられた方々の志により、今も脈々と受け継がれています。

阪神間モダンイズム発祥の地といえるこの住吉の地で、野村不動産、三井不動産が、日本ではじめて手を揃えます。

JR神戸線快速停車「住吉」駅から徒歩3分。

甲南幼稚園・小学校の美しい御影石積と生け垣が続き、邸宅の街としての時の興行きを湛えた「住吉本町」。

野村不動産と三井不動産がお届けする新計画に、どうかご期待ください。

「神戸東灘・住吉本町プロジェクト」会員募集

☎0120-225-025

<http://www.nomura-mitsui.com/>



●一方の方に先駆けて、最新資料・最新情報をお届けします。フリーダイヤルまたはホームページよりご入会ください。

JR神戸線
「住吉」駅、徒歩3分
阪急神戸線
「御影」駅、徒歩15分
住吉駅からはフラットなアプローチです

クラスの恵まれた居住環境を誇る。
「住吉本町プロジェクト」は、野村不動産と三井不動産という実績豊かなデベロッパーが、初めて2社でコラボレートする記念すべき集合邸宅。誉れ高い第一号に選ばれたのは、歴史、文化、環境のいずれもが佳良な住吉の地だ。そして選ばれし地に、相応しい風格を持つ住まいが誕生する。
2400坪超の敷地は、かつて安宅産業の創始者・安宅弥吉が屋敷を構えた由緒ある場所。東に接する風致地区には、甲南学園幼稚園・小学校の佇

まいと住吉川のせせらぎ。JR住吉駅から徒歩3分という利便性を誇りながら、豊かな自然環境を享受できる希少な立地だ。
高雅の地には、相応しい意匠とサービスを。構造からインテリアまで、質を重視したハウジングコンセプト。阪神間モダンイズムの系譜をひく、和の奥行と洋のスマートさが融合したデザイン。そして24時間有人管理のセキュリティ、ホテルライクなコンシェルジュと、ハードもソフトも質が高くステータスを感じる。価値ある住まい。それは、

時を越え心に響く。住吉の地に邸宅文化の種が蒔かれてから百余年、今再び、新しく大きな花を咲かせようとしている。そして住まう人により、豊かな生活の果実が実ることだろう。

住吉本町プロジェクト準備室
☎0120-225-025
<http://www.nomura-mitsui.com/>



営業担当 高野 賀弘さん

信和住宅販売株式会社

ファスタージュ垂水高丸サーモス
ファスタージュ六甲道サーモス

永く暮らすから、住まいに「北欧スタイル」を

アルネ・ヤコブセン、ハンス・J・ウエグナー、アルヴァ・アアルト、ポール・ヘニンゲン……。優れた家具やインテリアは、北欧のデザイナー達の手によるものが多い。世界中で、時を越えて愛される北欧生まれのデザインは、「良いものと、永くつきあう」という北欧のスタイルが原点にある。長く厳しい北欧の冬、人々は家で過ごす時間が長い。そんな時間を味わうように、お気に入りの物に囲まれゆつくり過ごす。思わず笑顔がこぼれるマリメッコの花柄。手触りが暖かいアラビアのカップ。何気ない毎日の生活を楽しむ文化が定着している北欧には、温もりを感じるアイテムが多い。鮮やかだが派手派手しくない色使い。さり気なく小粋な

装飾。そしてしっかりと自己主張がありながら、決して主張しすぎることのない存在感。北欧の人達はきちんと、物の本質に価値を見出し、長いスパンを考えてチョイスするのだ。

シンブルで飽きのこないデザイン。高い機能性。そしてあふれるやさしさ。世代を越えて愛される住まいと、心地よい暮らしを求めて、信和住宅販売株式会社は北欧の意匠を受け継ぐマンションをリリースした。

トータルに暮らしの原点を見つめる視線で採用したのは外断熱工法。外壁を断熱材で包む欧米では主流の工法だ。日本ではまだなじみが薄いのが、心地よく暮らせる室内環境、建物の資産価値、永住に耐え

うる性能、ライフスタイルに応じた可変性などの面で、今後有力な選択肢の一つになるだろう。

外断熱工法では、外気温に左右されない快適で安定した室内環境が得られる。関西初の外断熱マンション「ファスタージュ西岡本サーモス」には、暑かったこの夏に3度しかクーラーを入れなかったというお宅もあった。また、室内の環境が安定しているため結露も発生しにくい。さらに、コンクリートも劣化しにくいので建物の構造が長持ちし、将来に向けても資産価値が下がりにくいと予想される。

良いものを永くという発想から、見えないところにも気配りが。構造には100年のロングライフを念頭にした高



シンプルで品の良いフォルム
(ファスタージュ垂水高丸サーモス)

強度コンクリートを採用。配管もステンレスやポリブデン管という長持ちする素材を選択している。

長い間住まえば、家族構成やライフスタイルにも変化が。二重床や二重天井、外配管方式を採用し、将来のリフォームやメンテナンスにも柔軟に対応できる。

そして暮らしにやさしさを

演出する天然木のフローリングは、室内環境が安定している外断熱でこそ実現する。

立地も大切な暮らしの要素。生活を楽しむために選ばれたのは、豊かな環境と高い利便性を兼ね備えたロケーション。垂水高丸は閑静な住宅街の一角、六甲道はパークサイド。両物件とも駅やショッピング施設、病院や銀行など日々の暮らし

に欠かせない生活施設は徒歩圏内だ。

毎日を過ごす場所だから、真に価値ある住まいを選びたい。北欧のメインッドが息づく信和住宅販売株式会社のマンションなら、きっとそんな思いが叶う。そしてあなたのカラーが重なれば、時とともにより味わいを増すだろう。



天然木フローリングがぬくもりを醸すリビング（ファスタージュ六甲道サーモス）



モダンなベッドルームはリラックスできる空間（ファスタージュ六甲道サーモス）



サニタリーもナチュラルなイメージ（ファスタージュ垂水高丸サーモス）

●次期物件もリリース間近！

信和住宅販売株式会社

07-8-021-7885

<http://www.mansionclub.jp>

<http://www.shinwa-thermos.com>

◆ファスタージュ垂水高丸サーモス

0120-07-6550

<http://www-ft-urumi.com>

◆ファスタージュ六甲道サーモス

0120-777-838

<http://www-ft-rokko.com>

株式会社アイランドデザイン 店舗付住宅

アイデアとノウハウで、夢のひとつ上を実現

多数の店舗デザインを手がけてきたアイランドデザイン。美容室や飲食店などのセンスが問われる業種に実績を残し、神戸はもちろん、大阪、東京、さらに海を越えて台湾でも手腕を発揮してきた。

高いデザイン力が評価されているアイランドデザインは、土地の取得からインテリアまで建物をプロデュースする「総合力」も持ち合わせている。

そのノウハウを生かした店舗付住宅が、今、注目を浴びている。

その根本は「もしここに自分が住んだならば」という施主の眼差しでイメージを膨らませることにあるという。そのイメージと施主の思いを摺り合わせ、予算や土地条件、法規制などの枠組みに柔軟に対応しながら実現していく。

実際の施工例を見てもみよう。

施主は歯科医の木村吉伸さん。海を望む神戸らしさを感じる場所に憧れていた。そして垂水区の一角の海を望む土地と運命の出会いを果たす。この明るく爽快な立地を活かしながら、医院付住宅を建てることに。



ご自慢のコレクションと、施主の木村さん

当初階段を考えていた上階への移動も、患者さんの立場や将来を見越して、エレベーターを設けた。

木村さんの希望は、海が見える診察室、バルコニー、コレクションを飾る趣味のスペース。アイランドデザインの山内恒男さんは最初、診察室に吹き抜けを設け、一層開放感が出るようにデザイン。ところが木村さんは、ルーフレコニーだけでなく、リビングにもバルコニーがほしいと強く希望。その結果、2階部分セットバックしてバルコニーを設けた。



明るくスマートな外観は、医院らしい清潔感も



診察室からは、素晴らしい眺望が広がる

ターを設置することに。話し合いはもちろん、CGを駆使したイメージ図によってさまざまなデザインが検討され、案は練られてゆく。

完成した建物は、実に気持ちの良いものとなった。1階の診察室からは紺碧の海と翠緑の淡路島、雄大な明石海峡大橋が一望。「患者様の笑顔の回復・維持のために」という木村さんの思いが、眺望に心癒される空間となって実現した。

2階のバルコニーでは爽やかな潮風が頬をなでる。ここでバーベキューがしたいと、木村さんの夢も膨らむ。半2階にはホビースペースが設けられ、木村さんご自慢のアルファロメオのミニチュアがシ

ョーケースに並ぶ。

「ほかにないような歯科医院を作りたいという希望が叶いました。こんなに景色の良い歯医者さん、なかなかほかにないでしょ？」と語る木村さんの笑顔が、高い満足度を物語っている。

店舗付住宅について、山内さんはこう語る。「店舗部分は利益を上げる仕事の間であり、不特定多数が出入りするパブリックなゾーン。住居部分は自分や家族がくつろぐ休息の場であり、安心できるプライベートなゾーン。相反する性格の二つの空間を持つので難しい面もありますが、だからこそやりがいもひとしおなのです。」

バルコニーはまるでリゾートホテルのよう



積み重ねたノウハウと柔軟な発想、そして熱い思いが、またひとつ幸せな空間を生み出してゆく。

(株)アイランドデザイン

07-8621-3991

<http://www.island-design.co.jp/>



代表取締役・店舗デザイナー 山内 恒男さん



居室部分には、陽光が溢れている

対談：人生を
楽しむ
「終の棲家」を

伊東真理子

(同朋大学社会福祉学部 助教授)

VS

松並俊彦

(株式会社チャームング・コミュニティ 代表取締役)

陽光が水面に弾けるラメの向こうは、ほど遠からぬ淡路の緑。夜の帳が静かに下りれば、七色に輝く大橋の虹の袂を、異国へ旅立つ船が往く。白砂青松の舞子公園。歴史重ねた移情閣。都会に近い利便さと清爽とした絶景の舞子の街に、高齢者向け住宅「チャームング・スクウェア舞子」がよいよ完成する。

人は誰でも歳を重ねる。これからの高齢者の住まいはどうあるべきなのか。人生の最後のステージをどのように選ぶべきなのか。そして、どのように生きるべきなのか。老人福祉に造詣が深い同朋大学助教授の伊東真理子さんと、チャームング・スクウェア舞子をリリースする株式会社チャームング・コミュニティ代表取締役の松並俊彦さんに語っていただいた。



『今日が一番若い』から 前向きに過ごせるように

松並 神戸の皆様には馴染み深い場所とは存じますが、舞子という場所は実に魅力的なところですね。実際に初めて現地を見たときに、これだけ素晴らしい場所があったのかと身震いしたのを覚えています。神戸の街からこんなに近い



着々と工事が進むチャーミング・スクウェア舞子。スパニッシュ風のデザインは、海辺の景色に華を添える

のに、目の前に穏やかな海と雄大な明石海峡大橋を望む、整備された公園の中という絶好のロケーションを得て「チャーミング・スクウェア舞子」を運営させていただく喜びでいっぱいです。

「チャーミング・スクウェア舞子」は、私どもゼクスグループ（東証二部上場企業グループ）が、明るく魅力的なセカンドライフをお過ごし頂くための住宅として展開しているチャーミングシリーズの、関西圏初進出となるシニア住宅です。既に、川崎市溝の口と東京都文京区の東京大学前に開設し多数のご入居者をお迎えしています。

伊東 私も舞子の場所をよく知っていますが、実際に先ほど建設中の建物の中から目の前の海岸や淡路島を見て、つくづく素敵だなあと感じました。六十代の元氣なうちは自然環境の良い場所がいいのですが、七十代になってくると、都市型、劇場型の住空間が便利になってくるのです。そういう意味でも実にバランスの取れた良い場所だと思います。

松並 単に風光明媚な場所というより、簡単に行き来できる交通の利便性が大切だと思います。それに建物を取り巻く環境もご高齢者にとって住み易いかがポイントです。坂道があったり段差があったりでは、ついつい出歩くのも億劫になってしまいます。チャーミング・スクウェアは、施設ではなく「住まい」として、ご入居者が魅力溢れる生活をお楽しみ頂く舞台としてありたいと願っています。魅力的な生活には趣味や興味を深めることや、新しい交流の輪



伊東 眞理子 (同朋大学社会福祉学部助教授)
 静岡県生まれ。大阪学院大学経済学研究科博士課程修了。在学中より京都府内の老人病院や老人保健施設のカウンセラーをつとめ、兵庫県長寿社会研究所研究員を経て現職。1995年UCLA老年学センター客員教授として渡米。「たのしく学ぶ高齢者福祉：まり子先生のサクセスフル・エイジング入門」、「美しく年齢を重ねる」など著書多数。大津市介護保険運営協議会委員、名古屋市中川区地域福祉計画策定委員会会長。

を広げるきっかけが必要です。そのためにも館内が一つの街のように機能する多彩な共用施設や自由にご参加いただけるイベントなどを開催していきます。住み慣れたご自宅で、いつまでも生活されたいと希望される方も多いと思いますが、今までの住まいより、もっとチャームिंगな生活をされたいとお選び頂ければ幸いです。伊東 日本では旧来の慣習などで今までの家で生活を終えたいと考える人が多いのです。その点、欧米では移動に対する抵抗がありませんから、引退後、残りの人生を楽しむために高齢者住宅へ移り住む人が多いのです。それは、「これからの人生で今日が一番若い」と考えるからでもあります。思い出は人生のフィードバック

であり、先を見て時代とシンクロして生きていくのです。高齢者でも恋愛はできますし、刺激も必要です。これこそ自家製ホルモン剤ではないですか(笑)。

松並 「これからの人生で今日が一番若い」という考え方は素敵ですね。そう思えるからこそ、いつまでも自分を磨いていけるのでしょね。それと、日本ではまだ介護は弱者のイメージを持たれていますが、欧米では介護に対する偏見や差別がありませんね。

伊東 介護を受けていても、自分を卑下したり嘆いたりする人は少ないですね。実に堂々としていきます。介護されていても美しくきれいに生きられるのです。「レディ」と呼ばれている人



松並 俊彦(株式会社 チャーミング・コミュニティ代表取締役社長)
昭和30年生まれ 日本大学卒。
大学卒業後ホテル・レジャー関係の仕事に従事。平成13年シニアレジデンスの担当として株式会社に入社。チャーミングコート満の口、チャーミング・スクウェア本郷の立ち上げに携わり現在に至る。

は、オムツに人工心臓でも美しいのです。自分が「レディ」であることに誇りを持っているからこそのでしょう。

松並 日本でもそういう風潮になっていけばいいですね。これからの人生を思いっばい楽しんでいただけよう、もしも介護が必要になっても安心な住環境を提供したいと考えています。

伊東 チャーミング・スクウェアさんには、ぜひその先陣をきってほしいですね。

「老後は自分たちのために」が
これからのキーワード

伊東 私は、これまで高齢者居住の研究をして

きました。高齢者居住には二つのパターンがあります。「年齢混住型」と「年齢分住型」です。研究者は、若者との混住が良いと言いがちなのですが、いろいろなところを見てみると、同じ世代が集まった年齢分住型の方が、より満足度が高いように思われます。高齢者には孫が来る喜びと、帰る喜びがあるのですよ。

もうひとつ、プライバシーの問題とコミュニケーションの問題が出てきます。同一の建物に住んでいても、いかに自由に生活できてプライバシーを守るのか、他の入居者の人たちといかに交流していけるかが重要になってくるのです。その点からも、生活スタイルや嗜好が極端に違う年代ではジェネレーションギャップが起



こりますので年齢はある程度近いことが望ましいのです。

松並 チャーミング・スクウェアには、ご家族やご友人が気軽に訪ねて来ていただきたいと思っています。住まいが変わったから今までのお付き合いがなくなるようでは寂しいですから。

プライバシーとコミュニケーションの問題は、伊東先生のおっしゃる通りとても重要なことです。細かな規則や規制を設けるのではなく自由に生活を楽しめる住まいが必要と考えています。少人数が暮らす施設が良いと言う方もいますが、そのコミュニティがご自身にぴったりで快適に暮らせればよいのですが、人数が少ないとお互いに干渉してしまいプライバシーを守ることが難しく、さらに自分の行動を他人に合わせなくてはならない不自由さもあります。多くの入居

者の中から、ご自身に合った新しい友人を見つけて、自由に良好なお付き合いができることの方が大切でしょう。

伊東 アメリカでは、高齢者住宅がたくさんあって、それこそピンからキリまでありますが、良い高齢者住宅は極めて上質なコミュニティが作られています。基本にあるのが「自由」で、いかに自分が主役で人生を楽しむかが根底にあるのです。

松並 一昨年、アメリカの高齢者住宅を視察したのですが、ご入居者が本当に輝いて見えました。チャーミングでも、ぜひこういう雰囲気を作りたいと思ったものです。

伊東 少し前までは、日本ではそういう感覚があまりなかったのですよ。しかし、これからは「老後は自分たちのために」と考える人が増えてくるでしょうね。

運営スタッフは 血縁のない「第三の家族」

伊東 高齢者住宅に入居する人にとって、職員顔は重要なのです。明るさが無ければ駄目。人の温かみが一番。ソフト面の満足は、そこにいる人々の笑顔でわかります。従業員がマニュアル通りに動くのではなく、家族のように接することが大切です。

生まれ育った家族が「第一の家族」。結婚は「第二の家族」。そして老後は血縁の無い「第三の家族」。この「第三の家族」がいることで、安心して自分の人生を楽しむことができるので

す。
松並 私たちは、ご入居相談から運営に至るまで同じスタッフが担当させていただきまます。これは、まさに「第三の家族」として、ご入居者の生活をサポートさせていただきたいと思うからです。

伊東 アメリカ最大の高齢者住宅では、売店のスタッフまでが入居者の好みまで知っているのです。これこそ一流だと思えます。自分のことを把握してくれているという安心、それが満足につながりますから。

松並 いつまでもご入居者に満足していただけるようスタッフ一同熱い気持ちを持ち続けます。最後に、「チャアーミング・スクウェア舞子」の大きな特徴を申し上げますと、いつまでも元気で魅力的な生活を送るために、予防医療の実践や予防介護に力を注いでいます。もし、介護が必要となっても、介護専用室に移るのではなく、今までの住戸で暮らし続けることができるよう細部まで考えぬいて設計されています。更に、重い認知症になったとしても、入居者専用のユニットケアを設けていますので、ご安心して暮らしていただけます。その他、充実した共用施設や従来の有料老人ホームとは違うシステムがたくさんありますので、是非一度ご見学にお越しください。スタッフが笑顔でお出迎えします。

◆チャアーミング・スクウェア舞子
チャアーミング・スクウェア

三宮インフォメーションセンター

0120-839-808

<http://www.charming.co.jp/>

第17回ひょうごの祭 — ふれあいの祭典



特別ゲスト

五木ひろしさん (29日) 高石ともやさん (30日)

他にも元気いっぱい、楽しさいっぱいのイベントが盛りだくさん!!

Information

日時 10月29日(土)～30日(日) 10:00～16:00

会場 三木総合防災公園

お問い合わせ:ふれあいの祭典実行委員会 TEL 078-362-3994 <http://web.pref.hyogo.jp/info/hureai/>